

平成30年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市大和福祉センター				作成日	令和1年7月4日
	所管課担当名	福祉課 地域福祉担当		課長名	武澤 勝彦	作成者名	平山 建
	指定管理者	名称	株式会社 やさしい手甲府				
		代表者	代表取締役社長 根津 宏次				
		所在地	山梨県甲府市上石田1丁目7番地14号				
		指定期間	平成26年4月 ~ 平成31年3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野77番地				
		設置目的	市民の健康と福祉の増進を図るため、甲州市福祉センターを設置する。 (甲州市福祉センター設置及び管理条例 第1条)				
		利用者	甲州市内および市外の利用者	施設管理体制	3名	開館日時間等	9:30 ~ 16:30 (日曜・祝日・月曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)大和福祉センター(田野の湯)における入浴施設の管理・運営 (2)健康増進施設の一つとしての機能を果たすとともに市民のふれあいの場を提供					
自主事業	(1)福祉サービスにおける、地域の方への送迎サービスの実施 (2)施設利用者へ回数券の販売 ・市内10枚綴り2枚分無料利用券を付加 / 市外10枚綴り1枚分無料利用券を付加 ・甲州市民(山梨市民含む)の障害者 10枚綴り3枚分の無料利用券を付加 ・市民以外の障害者 10枚綴り2枚分の無料利用券を付加						
DO	管理運営コスト推移(千円)		平成26年度 (指定期間1年目)	平成27年度 (指定期間2年目)	平成28年度 (指定期間3年目)	平成29年度 (指定期間4年目)	平成30年度 (指定期間5年目)
	予算	指定管理料	11,974	12,401	12,570	11,432	11,269
		利用料金収入	1,550	1,550	1,300	1,300	1,200
		その他収入	24	24	24	24	24
		管理運営経費	13,548	13,975	13,894	12,756	12,493
	決算	指定管理料	11,974	12,401	12,570	11,432	11,269
		利用料金収入	1,334	943	1,022	1,026	897
		その他収入	16	12	10	10	13
		管理運営経費	13,792	15,036	12,679	12,670	14,218
	収支	-465	-1,679	924	-200	-2,039	
施設の稼働状況		平成26年度 (指定期間1年目)	平成27年度 (指定期間2年目)	平成28年度 (指定期間3年目)	平成29年度 (指定期間4年目)	平成30年度 (指定期間5年目)	
指標	開館日数	248	218	249	241	248	
	利用者数(人)	2,458	1,814	1,921	2,045	1,694	
活動結果		・檜の木がオイルタンクに接触する危険性が見られたため、1月に特殊伐採工事を実施。 ・枯葉堆積による樋つまり防止のため、屋根の枯葉除去作業、施設周辺の環境整備を実施。 ・貯水槽修繕を実施。					
CHECK	評価観点		評価 (5 4 3 2 1) 高→低	評価の説明			
	(1)事業の運営		3	・協定書のとおり適切に管理運営が行なわれている。 ・主に大和地域住民に福祉サービスの利用者送迎を行うなど、地域住民からの評価も高く、地域と一体となった事業の展開が評価できる。また、平成30年度から障害者に特化した回数券販売を行い障害者の自立支援、社会参加促進を図っている。			
	(2)施設の維持管理		3	・施設設備については、定期的に保守点検を実施し機能保持に努めている。 ・施設の老朽化を防ぐため特殊伐採工事や屋根の枯葉除去など細かい対応を行っている。 ・温泉施設の管理、清掃など厳格に行いレジオネラ属菌検出防止に努めている。			
	(3)収入支出		3	・原油価格の高騰などの影響もあり、支出は昨年度より増加しているが、業務内容の見直しによる残業時間の削減、送迎車両のリース化を行い経費削減の取り組みを行っている。			
	(4)総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)				
優良 良好 妥当 要改善 不適		妥当		・協定書及び事業計画書のとおり適正に事業が実施されている。 ・施設の維持管理について、修繕規模が大きくなる前に優先順位を決め適切に対応を行っており、概ね良好な管理運営が出来ている。			
平成30年度評価結果に対する今後の対応							
ACTION	当面の課題	・耐用年数が経過している老朽化した設備・機器が多数あるが、それらを全て修繕、交換などで対応する場合、多額の費用がかかることが予想される。 ・固定客の高齢化が進み、デイサービスへの移行などにより利用者数の減少が見られる。					
	課題解決への対応	・設備・機器の更新や修繕について、優先順位を決定するため指定管理者と協議を行い、今後の計画を明確化していく。 ・要因の分析、改善策検討及び実施について指定管理者と協議し、課題解決に繋げていく。					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。 ・地域住民に対し、送迎サービスを実施し、利用者の確保に努めている。 ・デイサービスセンターと一体的に管理する中で経費の削減に努めているが、燃料費の高騰などにより管理運営費が増加傾向にあるので、利用者を確保し、収支の改善に努めていただきたい。							